

教育目標：○進んで学ぶ子 ○心を磨く子 ○健康に過ごす子（わかば学級）○得意なことを頑張る、苦手なことにも挑戦する子 ○友達と仲良くする子 ○きまりを守る子 ○自分のことは自分でする子

めざす学校像：毎日通うのが楽しみな学校、当たり前前ができる学校、見える学校・話の出来る学校

めざす児童・生徒像：自らを高め、互いに支え合い、楽しく充実した学校生活を送ることのできる児童

めざす教師像：指導力に優れた教師、児童、保護者、地域から信頼される教師、組織的な学校運営にすすんで参画できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価						
				中間	最終	基準		中間	最終	基準				
						4	3			4	3			
確かな学びの定着	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成する。 ○主体的、対話的で深い学びの実現を旨とし、授業改善を推進する。	○「授業改善推進プラン」をもとにした授業改善を図り、基礎・基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。	週ごとの指導計画を作成し、指導と評価の一体化を図り、授業改善を推進する。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	授業が分かりやすいと答えた児童が90%以上			
						3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	授業が分かりやすいと答えた児童が80%以上			
						2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	授業が分かりやすいと答えた児童が70%以上			
						1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	授業が分かりやすいと答えた児童が70%未満			
			一人1台のタブレットやICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	○	○		○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	ICTの活用を通し、基礎基本が身についたと答えた児童が90%以上
									3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	ICTの活用を通し、基礎基本が身についたと答えた児童が80%以上
									2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	ICTの活用を通し、基礎基本が身についたと答えた児童が90%以上
									1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	ICTの活用を通し、基礎基本が身についたと答えた児童が90%以上
			国分寺学の創設に向け、地域人材や地域環境を活用した体験的な学習を再構築する。	○	○		○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	国分寺についての学びを深めたと答えた児童が90%以上
									3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	国分寺についての学びを深めたと答えた児童が80%以上
									2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	国分寺についての学びを深めたと答えた児童が70%以上
									1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	国分寺についての学びを深めたと答えた児童が70%未満
豊かな人間性の育成	○「全ての人にとって大切な街宣言」の具現化に向け、児童の豊かな心の育成や望ましい人間関係を構築する力を育成する。	○人権教育や生活指導の一層の充実を図り、いじめを予防し、児童の規範意識を高める。 ○児童の豊かな感性を育み、道徳性の向上を図る。	組織的にいじめ問題に対応し、児童が主体的にいじめ防止に取り組む活動の充実を図る。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	いじめ調査で嫌な思いをしていると答えた児童が10%未満			
						3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	いじめ調査で嫌な思いをしていると答えた児童が20%未満			
						2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	いじめ調査で嫌な思いをしていると答えた児童が30%未満			
						1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	いじめ調査で嫌な思いをしていると答えた児童が30%以上			
			・「考える道徳、議論する道徳」を推進する。 ・発達段階に応じて学級会活動を年に10回以上実施する。	○	○		○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	思いやりの心や人間関係形成力が育っていると答えた保護者が90%以上
									3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	思いやりの心や人間関係形成力が育っていると答えた保護者が80%以上
									2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	思いやりの心や人間関係形成力が育っていると答えた保護者が70%以上
									1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	思いやりの心や人間関係形成力が育っていると答えた保護者が70%未満
			開かれた学校づくり	○「見える学校・話のできる学校」となることで、家庭・地域と課題を共有しその解決を図る。	○あらゆるツールを活用し、学校の発信力を高め、保護者・地域との連携を深め、協働関係を築く。	・学級だよりを毎月1回発行する。 ・二小ブログを毎日更新する。	○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	開かれた学級づくりに努めていると答えた保護者が90%以上
									3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	開かれた学級づくりに努めていると答えた保護者が80%以上
									2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	開かれた学級づくりに努めていると答えた保護者が70%以上
									1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	開かれた学級づくりに努めていると答えた保護者が70%未満
保護者・地域に学校を公開し、事後のアンケートを活用して教育活動の改善を図る。	○	○					○	○	4	ほぼ取り組めたとする教員が90%以上	○	○	4	地域の人の意見を学校教育に生かしたと答える教員が90%以上
									3	ほぼ取り組めたとする教員が80%以上			3	地域の人の意見を学校教育に生かしたと答える教員が80%以上
									2	ほぼ取り組めたとする教員が70%以上			2	地域の人の意見を学校教育に生かしたと答える教員が70%以上
									1	ほぼ取り組めたとする教員が70%未満			1	地域の人の意見を学校教育に生かしたと答える教員が70%未満